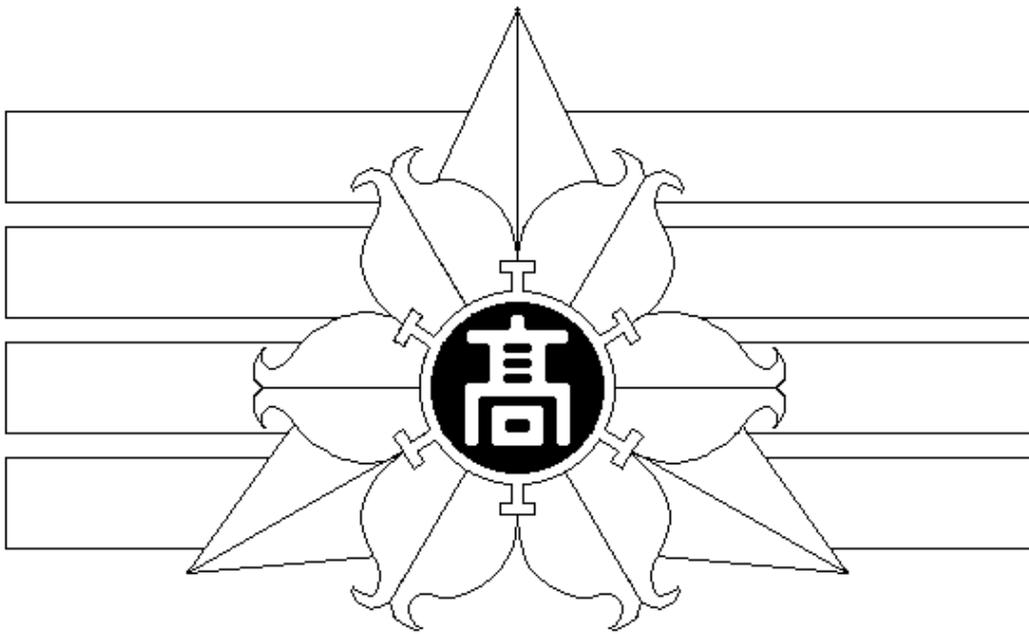


平成28年度

学校教育計画

平成28年5月



大阪府立泉尾高等学校

目 次

1	学校教育活動の方針	
(1)	学習指導の方針	3
(2)	特別活動の方針	7
(3)	道徳教育及び生徒指導の方針	8
(4)	進路指導の方針	9
(5)	人権尊重の教育の方針	12
(6)	健康管理と指導の方針	13
(7)	学校組織の運営方針	18
(8)	教員の研修方針・研修計画	19
2.	校務分掌及び各種委員会	
(1)	校務分掌表	20
(2)	学年主任・ホームルーム担任一覧表	22
(3)	生徒会活動、部活動担当者（顧問）一覧表	23
3	参考資料	
(1)	行事予定表	24
(2)	教育課程表	28

1. 学校教育活動の方針

◎ めざす学校像

人から認められることの喜び・勉強がわかることの楽しさ・様々な個性との触れ合いを体験することにより、生徒が自分の将来を創造する意欲と能力を身につける学校をめざす。

- 1 基礎学力の定着を図ることで、自己実現できる人材を育成する。
- 2 自尊感情や規範意識をもち、自ら判断し行動できる人材を育成する。
- 3 多様な価値観を認めることができ、人と協働できる人材を育成する。
- 4 生徒の地域貢献活動や地域人材を生かした教育活動などを通して、地域と連携する学校をめざす。

(1) 学習指導の方針

基礎・基本の定着をめざし、少人数指導など個に応じた指導を行うとともに、生徒の興味関心を引き学習意欲の向上につながる教材、教具及び教授法の開発に努めることにより、学校生活の質の向上を図る。

① 基礎学力の充実

本校生徒の中には基礎的・基本的事項の習熟の不十分な者が多く、基礎学力の定着・向上に努める。小・中学校時につまずいた生徒が多い実態をふまえ、学び直し等、学力の回復に努める。そのために、チームティーチングや習熟度に応じた少人数の展開授業を実施する。

② 「生きる力」の育成

進学・就職希望にかかわらず、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題を解決する資質や能力を育成する。そして今日の社会を生きぬく力、社会の一員として活躍できる力を育成する。

③ 「豊かな心」の涵養

生徒の興味・関心を引き出し、主体的、積極的に授業に参加できるよう生徒の実態に合わせた多様な科目を開設していく。あわせて情報化・国際化といった社会の多様化にも対応し、多様な価値観を認めることのできる「豊かな心」を養う。

④ 自主的な学習態度の育成

生徒自らが積極的に授業に取り組み、参加していく態度を育成する。そのために教材を精選し指導内容を検討して基礎的、基本的内容を十分に定着させる。

⑤ 得意科目の伸展

個々人の得意な分野を自覚させ、その力を伸ばすように努める。

各教科の指導法については、後述のとおりである

◆ 国語科

① 達成目標

- (ア) 国語教育全般を通じて、様々な考え方や生き方に触れることで多様な価値観を身に付けると同時に、考えることの重要性を学ばせ、考える力を身につけることができるように指導する。
- (イ) 国語の基礎学力として、まず読むことができること、次に漢字を書くことができること、そして言葉の意味を理解すること、最後に文章で表現することを目標に指導する。

② 具体策

- (ア) 現代文および古典の指導では、様々な文章に触れることで読解する力を養成するとともに、親しみを深めるためICT機器や視聴覚教材も活用する。具体的には、以下の項目を実践する。
 - (a) 学習の動機付けにおいて、生徒の日常と関連していて、理解しやすい教材を用いて、興味を持たせる。
 - (b) ノートやプリントなどを点検する。

- (c) 授業時間内に小テストを行い、個々の生徒の到達度を把握する。
- (イ) 選択科目については、必修科目との関連性を考慮するとともに、生徒の進路に応じた学習内容となるようにする。
- (ウ) 表現指導では、進路実現を見据えて、自己表現できるように実践的・具体的な指導を行う。
- (エ) 読書指導として、様々な作品や作者を紹介することで、読書に興味を持たせる。また、図書館利用の促進も積極的に行う。
- (オ) 国語教育と人権教育の関連について研究・協力を努め、指導の促進をはかる。

◆ 地理歴史科

① 達成目標

- (ア) 過去の出来事が現在の生活と結びついていることを理解させ、興味と関心を持たせる。
- (イ) 多様な文化の歴史的背景を理解し、異なる価値観を持つ人々を認め、共存・協働していくことの意義について、生徒が自ら考えられるようにする。

② 具体策

- (ア) 授業中に内容を十分理解させる。
- (イ) ノート、プリントなどを適宜提出させ、平常点として評価する。
- (ウ) 生徒の状況を考えて教材を精選し、視聴覚教材を取り入れるなど、生徒の学習意欲を喚起するような教材配置をする。
- (エ) 到達度の低い生徒には長期休業中に課題を与えるなど、個別指導の徹底を図る。
- (オ) 地図・年表をはじめとした、さまざまな資料を活用する学習をいっそう充実する。

◆ 公民科

① 達成目標

- (ア) 新聞、インターネットなどメディアから得られる最新の時事問題について考察し、興味と関心を持たせる。
- (イ) 統計資料やグラフを読み取る力を持たせる。
- (ウ) 社会のさまざまな問題について、生徒が自らの考えや意見を持てるように支援し、多様な価値観を認め、変化する国際社会を公正に判断できるようにする。

② 具体策

- (ア) 授業中に内容を十分理解させる。
- (イ) ノート、プリントなどを適宜提出させ、平常点として評価する。
- (ウ) 生徒の状況を考えて教材を精選し、視聴覚教材を取り入れるなど、生徒の学習意欲を喚起するような教材配置をする。
- (エ) 到達度の低い生徒には長期休業中に課題を与えるなど、個別指導の徹底を図る。

◆ 数学科

① 達成目標

- (ア) 基本的な数学の教養と多様な価値観を身につけさせ、それが地域社会等に還元できるようにする。
- (イ) 基本的な知識と技能の習得のため、学習到達度の低い生徒については、小テストなども適宜行い、個別指導を徹底し内容理解に努める。
- (ウ) 到達度の高い生徒については、放課後の補習やプリント等を配布し、より発展的な内容に取り組みせる。

② 具体策

- (ア) 1, 2年において、少人数習熟度別授業によりきめ細かい指導を行う。
3年次においては、進路別（進学・就職）に分けて、実生活で役立つ授業を展開する。

- (イ) 到達度の低い生徒に対しては、主に考査前の放課後を利用して個別指導を行い、発展学習を希望する生徒に対しては、主に長期休業日を利用して計画的に補習を行う。
- (ウ) ICT機器や、視聴覚教材などを効果的に用いることにより、授業の多様化を図る。
- (エ) 研究授業を行い、学習指導方法についてよく論議する。

◆ 理科

① 達成目標

- (ア) 自然界の事物や現象を科学的な視点で捉える能力を養う。
- (イ) 自然科学に関心を持ち、考える態度を養う。
- (ウ) 生徒の実態を踏まえた教科指導にあたる。

② 具体策

- (ア) 実験や実習、観察、視聴覚機材等を用いて自然科学への関心を高める。
- (イ) 科学館見学等の課外授業を適宜実施し、実物観察を授業に多々取り込む。
- (ウ) 教材の共有や情報交換・意見調整についてICTを利用して随時行うとともに、教科会議を開催して、指導法や教材の研究・予備実験等を行い、各科目に関する見聞を広める。
- (エ) 文化祭等の機会を利用し、生徒に対して展示などの発表の機会を設ける。

◆ 保健体育科

◇ 体育

① 達成目標

- (ア) 基礎体力の向上と技能の習得を図り、さまざまな種目を通じて社会性を養い、生涯にわたって運動を継続できる生涯スポーツになるように指導する。

② 具体策

- (ア) 集団行動を行い、授業の規律を指導する。各時間の準備運動にラジオ体操、補強運動を行い基礎体力の向上をねらう。
- (イ) 種目に応じた、専門的体力及び技能を身につけ、スポーツについての理解を深め生涯スポーツとなるように指導する。
- (ウ) グループでの学習を通じて、コミュニケーション力をつけさせ社会性を養わせる。
- (エ) 病気等により、身体的活動を制限する必要がある生徒については、事前に保護者・本人と面談し、活動内容を考慮する。

◇ 保健

① 達成目標

- (ア) 健康について知識と理解を深め、健康の保持増進を図り、自己及び集団の健康を留意する能力と態度を養う。また、体育と関連をもたせ、各分野の知識をさらに深める。

② 具体策

- (ア) 教科書に頼りすぎず、身近な問題を題材にしながら、自身の健康について考えさせる。
- (イ) 写真や実際の物を活用しながら理解を深められるようにする。

◇ アクティブスポーツコース

(野球：平成22年度新設、バスケットボール・バレーボール：平成26年度新設)

① 達成目標

- (ア) 健康の保持増進と体力の向上を図り、強靱な心身を養う。

(イ) 生涯を通じて運動を実践できる能力や態度を養うとともに、健康な生活を営むことができるようにする。

(ウ) 部活動と関連づけながら、集団としての技術・戦術の向上を目指す。

② 具体策

(ア) 種目単位で、個別に授業を行い専門的な技術と体力を向上させる。また、種目を越えて授業を行うことで、体の使い方、動きを身に付けさせ、より専門的な技能を身に付けさせる。

(イ) 少人数で行うことにより、普通の授業ではできない専門的な戦術練習なども取り入れて指導する。

(ウ) 外部施設を利用し、本校ではできない実践型を取り入れた授業を取り入れる。

◆ 芸術科

◇ 音楽

① 達成目標

(ア) 生涯にわたって音楽を愛好する心情や態度を養う。

② 具体策

(ア) 声楽・器楽を問わず、単に音を出す方法のみでなく、創造的な表現ができる能力を養う。

(イ) 様々な音楽作品を聴かせ、その中に内在する本質的なものを発見できる鑑賞力を養う。

(ウ) 楽典・ソルフェージュ・音楽史等の音楽の基礎知識の向上を図る。

(エ) 実技においては、特に器楽（ギター、A. リコーダー、和楽器など）の指導において巡回・個別指導を重視する。

(オ) 知識的なものにおいては、レポート提出や定期考査で知識定着を確認する。

◇ 美術

① 達成目標

(ア) 絵画、彫塑、デザインの創作活動を通じて表現する能力を伸ばし創造力を養う。

(イ) 造形的な創造活動を通じて美的感覚を洗練し、表現と鑑賞能力を高める。

(ウ) 鑑賞と表現の能力を高め、豊かな人格の育成に努める。

② 具体策

(ア) 美術Ⅰでは基礎的な理論を理解し、習作的課題を主に、Ⅱ・Ⅲでは創造的課題を主に制作する。

(イ) 表現方法や技術を具体的に示し興味を持てるよう指導する。

◇ 書道

① 達成目標

(ア) 書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす

② 具体策

(ア) 中学校国語科書写の機能性を軸とした学習から、芸術書道の表現性を軸とした学習へと誘う。

(イ) 基本的な古典を教材として取り上げ、技法の習熟を図る。

(ウ) 書の歴史的背景に触れ、興味を持たせるように指導する。

(エ) 机間巡視を行い、一斉指導に並行しながら丁寧に個別指導を行い生徒個々の能力向上に努める。

◆ 英語科

① 達成目標

- (ア) 社会において役立つ英語力を身につける
- (イ) 英語を通じて外国の社会や文化に対する興味を喚起する。
- (ウ) 進路に応じて必要となる英語力を身につける。

② 具体策

- (ア) 教科会議で、指導内容の吟味や指導速度の統一化をはかる。
- (イ) 習熟度別少人数授業を行ない、よりきめ細かい指導を行なう。
- (ウ) 勉強方法を具体的に示し、わかり易い興味のわくような授業を行なう。
- (エ) 個別に勉強方法をアドバイスする。
- (オ) 予習・復習をさせるため、教科書補充プリント、演習プリントを作成する。
- (カ) 一定期間の放課後や休業中に、生徒の進路に応じた補習を計画、実施する。
- (キ) 追認考査のための指導を行なう。
- (ク) N E Tとのティームティーチングや、音声教材や ICT 機器を活用して、リスニング・スピーキングの面を充実させ、英語を使って自己を表現させる。

◆ 家庭科

① 達成目標

- (ア) 人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
- (イ) 人とのかかわりを大切にし、協働できる精神を養う。

② 具体策

- (ア) 生徒が自らの生活を見つめ、課題となっていることがらを把握し、それらの解決に向けて積極的に考え、実行し、工夫していけるようきめ細かく指導する。
- (イ) 自らの行動が家族や地域に与える影響について振り返り、好ましい態度を身につけられるように導く。
- (ウ) 興味・関心を引き出すためにワークシートや見本、例示等を充実させ、意欲的に学習内容に取り組めるよう工夫する。
- (エ) 生徒の能力を考えて教材を精選し、実生活に活かせる知識、技術を習得させる。

◆ 情報科

① 達成目標

- (ア) 基本ソフトウェアを用いてパソコンや情報の基礎・基本の操作である技術・知識である ICTリテラシーや情報モラルを習得させることを目標とする。

② 具体策

- (ア) 実社会で役立つ内容を取り上げて実習させる。
- (イ) 生徒の興味・関心を喚起するような教材内容の選定に努める。

(2) 特別活動の方針

ホームルーム活動、学校行事、生徒会活動や部活動等に積極的・意欲的に参加させるとともに、節度と規律を保ち、自尊心を高め、互いの違いを認め合う集団の育成に努める。

① ホーム・ルーム

生徒が自主的なホーム・ルーム活動を通じて、学校生活さらには社会を深くみつめる態度を養

い、将来有意義な人生を送ることができるよう基礎づくりをする。

生徒の自主性を重んじるが、運営にあたって学級担任は適切な指導助言をする。また、各学年で統一がとれるように連絡調整を密にする。

(ア) 生徒がもっと自分自身で計画的にホーム・ルームを運営できるように指導する。

(イ) 担任の適切な指導助言。

(ウ) ホーム・ルーム関係資料、及び教材の充実・活用。

② 文化的行事

文化祭等の文化的行事において、生徒会（文化委員会・文化系部活動）を中心に主体的に取り組ませ、発表、鑑賞、研究の機会とする。また、教員の実行委員会とも連携しながら、指導を進めていく。

③ 体育的行事

体育祭等の体育的行事において、生徒会（体育委員会、体育系部活動）を中心に主体的に取り組ませ、教員の実行委員会とも連携して進めていく。

保健部及び各関連教科と連携を図り、生徒に有益な体育的行事を随時行う。

生徒の体育的行事を教員の指導のもと、主体的に取り組ませる。

④ 部活動

(ア) 自主的な部活動の育成につとめる。

(イ) 部活動の正しい認識の上にならって、全教職員一致協力して指導をしていく。

(ウ) 顧問との連絡を密にし、部内の好ましい人間関係の育成につとめる。

(エ) 部長会、主顧問会議を開催して部活動の活性化を行う。

⑤ 地域貢献や奉仕活動

地域貢献や奉仕活動、地域美化活動（クリーンウォーク）、朝のあいさつ運動などを生徒会として企画して、社会性や奉仕の精神を養う取組みを行う。

(3) 道徳教育及び生徒指導の方針

学校生活の基本となる基本的生活習慣確立・授業環境の整備・厳粛な集会を行うことを柱として指導を行う。そのなかで、いわゆる「乱れ」に対する感度を高め、カウンセリングマインドを堅持しながら、自らを律することの大切さを自覚させるとともに、集団の中の個としての精神の醸成を行うための必要な指導に努める。

① 本年度の達成目標

(ア) 集団生活内での規律の重要性を認識させ、自ら進んで規律を守っていく態度の育成を図る。

(イ) 遅刻の防止に重点をおき、登校時の遅刻はもとより、授業間の遅刻の防止に努める。

(ウ) 登下校時を含め、制服の正しい着用の重要性や意味を認識させる。服装の乱れは学校生活の乱れであることとらえ、制服の正しい着用を生徒自ら行えるよう指導する。また、頭髪においても進路実現の観点も合わせ、地毛の状態を確保し高校生らしい姿で学校生活を送れるようにする。

(エ) 学習に支障をきたす授業中の携帯電話の使用を厳禁するとともに、スマートフォン・携帯電話やインターネット・SNSを使用したいじめや集団間の対立は利用者本人の思惑を越えて深刻な問題なることを認識させ、未然の防止に努める。

(オ) 教科「保健体育」や特別活動を中心として学校教育活動全体を通じて、喫煙や覚せい剤等薬物乱用防止について取り上げ、生徒の指導に当たり、その防止に努める。

(カ) 暴力での問題解決は不可能であるばかりでなく、人間関係の修復を困難にすることを認識させ、対話での問題解決の精神を涵養するように努める。

② 個別指導計画

(ア) 精神

問題行動に関して毅然とした対応・指導を行うとともに、問題行動に至った背景や生徒個人の悩みに寄り添いながら指導する。

(イ) 実践

(a) 個人指導票をクラスごとに整備し、個人の客観的把握に努める。

- (b) 保護者との連絡を密にし、相互の協力により多面的に指導するよう努める。
- (c) 担任及び生徒指導部員、教育相談委員による個人面談をできるだけ多くし、生徒の悩み等について、その解消に努力するとともに、思考の内面を把握し、適切な指導助言の機会とする。また、教育相談委員会との連携に努める。
- (d) 生徒の非行等については、その背景をみつまめ、教育的措置と教育機能保持の二面性を十分討議し、生徒指導部会・ガイダンス委員会・職員会議で検討しつつ処理していく。

③ 集団指導計画

(ア) 目標

- (a) 集団の中の個人としての意識を強調し、集団としてけじめのある行動ができるような育成・指導に努める。
- (b) 他との協調の習慣・責任ある態度・親切と礼儀等、集団の中の個人として好ましい社会性の育成に努める。

(イ) 具体化

- (a) 1年生の入学許可の当日に本校としての生活指導を行い、入学後の早い時期に外部施設を使用しオリエンテーションを実施する。
- (b) 全教職員による正門指導及び校外・校内巡視を通じて、遅刻防止及び制服の正しい着用、交通ルールの順守など、基本的生活習慣の確立をはかる。
- (c) 喫煙をすべての問題行動、非行のはじまりとしてとらえ、保健部・校医等と協力して、喫煙防止の徹底を期す。
- (d) 全体集会・学年集会・部活動・学校行事等、機会あるごとに、その集団行動指導に努める。

④ 道徳教育

健全な社会人育成のため、学校生活のあらゆる場面を通じて、個性の伸長、好ましい友人関係を作りながら社会性の養成に努めるよう指導する。

とくに、全校集会、学年集会、LHR、遠足、修学旅行等あらゆる機会に集団生活のマナーや、モラルを学ばせるように努める。

⑤ 交通安全教育

(ア) 安全指導

- (a) 1年生に対しては合格説明会、入学後のオリエンテーションを通して単車指導、自転車通学のことに関して指導の徹底をはかる。
- (b) 大正警察署や関係諸機関（JAF等）の協力を得て、交通安全指導を行い、自己及び他者の生命の尊重について考えさせる。
- (c) 生徒の登校時間中に、校外での交通マナー指導を行い、2人乗りや携帯電話で通話しながらの乗車等の注意喚起を行う。

(イ) 具体化

- (a) 単車について
三ない運動の趣旨を理解させ、単車の免許は極力取得しない指導を行い、どうしても取得しなければいけない時は保護者を交え、担任と相談する。
- (b) 自転車通学について
自転車通学者については届出を行わせ、自転車安全利用五則などの交通ルールの教育を行い携帯電話・スマートフォン等を操作しながらの乗車や二人乗りをしないなどの乗車ルールの向上を図る。

(4) 進路指導の方針

進路選択・決定は、社会生活において自己実現を遂げるうえでの大きな一歩であり、高校生生活3年間の総決算である。この意味において、キャリア発達を支援する取り組みを展開するとともに、自己を見つめ、自らの興味関心、能力、技能等の特性を認識させ、進路実現に向けて努力を惜しまない態度の育成に努め、就職指導はもとより進学指導にも力を入れる。

また、「キャリア教育支援体制整備事業」支援校として、就職支援コーディネーターとともに積極的にこの事業を活用し、生徒の進路実現に努める。

① 本年度の達成目標：希望する進路実現のための進路指導の充実

- (ア) 全生徒が自分の進路目標をたて、意欲をもって学習に励むよう指導する。
- (イ) 職場見学やインターンシップを促進し、生徒の視野を広げる機会を拡充する。
- (ウ) 近畿統一用紙（公正な採用選考）の趣旨を踏まえて生徒を指導する。

② 進路目標の把握

- (ア) 日常の学習やホーム・ルームを通じて、学習の目的・労働の意義について理解を深め、積極的に自分自身の進路設計をたてさせる。
- (イ) 担任および部員は個人面談・希望調査により生徒の進路志望を熟知する。また、保護者懇談の機会に家庭状況、保護者が生徒に希望する進路を把握し、総合的かつ具体的に進路実現のために適切な指導を加える。
- (ウ) 入学時からの進路指導を強化し、科目選択に自主的・積極的に取り組めるようにする。

③ 進路情報の提供

- (ア) 進学・就職に関し、上級学校の種類・内容や、産業界の構造・職業・職種等の資料ならびに卒業生の進路状況に関する資料を整備し、生徒に閲覧の機会を広く与え、各人の進路設計の参考にさせる。
- (イ) 卒業生や社会人に、大学・事業所等についての情報提供の協力を求め、在校生と直接ふれあう機会を設けることで、進路に対する意識を高める。

④ 進路説明会・講習

- (ア) 自分自身の進路設計に役立つ、目標にかなった学習をさせるため、生徒や、場合によっては保護者を対象とした講演会等を開く。
- (イ) 学習効果を高めるため、長期休業日等を利用し、補習や勉強会及び進路説明会を開き、積極的に参加させる。

⑤ 学年別（段階的）指導計画

(ア) 全体としての取り組み

授業や朝活動を中心に捉えた学習習慣の確立、高校生にふさわしい身だしなみ・内面の充実、適切な言葉遣いなど1年から卒業まで一貫して取り組ませる。

(イ) 第1学年

資料を整備し、有効利用させるとともに、個人面接や集団の中での観察から得た情報を参考に、適切な助言を与えつつ、自己省察を深め、適性の方向を発見させる。また、基礎学力の充実と向上、基本的生活習慣の確立が将来の進路開拓のための土台となることを悟らせる。

(ウ) 第2学年

さらに詳細な資料を多角的に取り入れ、その資料の正しい解釈のもとに指導をし、自分の進路についての考えを、漸次具体化することに努めさせる。こうした開かれた将来に対する展望のもとに、日常の学習活動を意義づけ、学習に身を入れることの大切さを日覚させる。

(エ) 第3学年

保護者との連絡を密にしながら、客観的情勢及び先輩の実績についての科学的分析にもとづいた諸資料を参考に、各自の努力の過程及び成果を自主的に評価させ、進路実現に向って、最後まで努力を続けさせるように、きめ細かな指導を行う。

【参考】3年間の進路指導計画

	1年	2年	3年	
月			進 学	就 職
4				
		11日(月)2・3年、12日(火)1年 基礎力診断テスト		
		21日(木)職業能力検査	18日(月)分野別説明会 奨学金について	18日(月)分野別説明会 面接の基礎
5	キャリア学習ワークブック		2日(月)適性検査	
	インターンシップ募集		12日(木)進路フェスタ	
			16日(木)分野別説明会 指定校推薦について	16日(木)分野別説明会 求職票配布
6			AO入試エントリー開始	8日(水)～10(金) 求人票閲覧練習
		*****11日(土)保護者向け 進路説明会*****		
		20日(月)進路講話	11日(土)一般常識テスト	
7		7日(木)8日(金)10日(月)昭和幼稚園職業体験		1日(金)求職票提出締切
			13日(水)進学説明会 指定校一覧配布	20日(水)就職説明会 求人表一覧配布
				21日(木)～25日(月) 求人票閲覧
				26日(火)応募前職場見学説明会
				応募前職場見学
8	進学講習		出願解禁	5日(金)就職説明会
	インターンシップ			斡旋依頼書配布
	オープンキャンパス		25日(木)指定校推薦説明会	8日(月)～10日(水)受験先調整・ 履歴書作成
				25日(木)斡旋依頼書提出締切
9			1日(木) 指定校推薦一次締切	5日(月)応募書類発送
	26日(月)基礎力診断テスト		12日(月) 指定校推薦二次締切	16日(金)入社試験開始
10	適性検査		推薦入試開始	
11		卒業生の話聞く会		合同求人説明会
		12日(土)保護者向け 進路説明会		
	職業別体験学習	21日(月)進路見学会		
12			一般入試開始	
1	適性検査	社会人の話を聞く会	大学入試センター試験	
2		分野別説明会	国公立大学2次試験(前期)	第2回合同求人説明会
3			国公立大学2次試験(後期)	

(5) 人権尊重の教育の方針

生徒の中には、いろいろな立場に置かれていたり障がいや有していたりする生徒がいる。その生徒に寄り添い、生き生きとした学校生活を送ることができるように努めるとともに、生徒全員が「生きる力」と「豊かな心」を持つことができるように育む。

- ①以下の人権教育の方針にのっとり、人権教育の一層の推進に努める。
 - (ア) 本校生徒の実態に即し、教職員が人権教育に主体的に取り組み、推進する。
 - (イ) 生徒に差別を差別としてとらえる力をつけさせる。
 - (ウ) さまざまな差別の歴史と現実から、差別は自らの問題であり社会の問題であることを理解する力を育てる。
 - (エ) 差別に負けず、また仲間と連帯して差別をなくす力を育てる。
 - (オ) 他人を思いやる心と自尊感情を育てる。
- ②資料を収集し整備するとともに、人権教育を実践している他校の実情を学ぶ。
- ③外部講師を招請して教職員の研修会を開催する。
- ④人権教育委員会を設置し、人権教育を進めるための学校体制のあり方について検討をすすめる。生徒に対しては、講演会・HR 討議・その他の行事及び生徒会活動・部活動など学校の教育活動全体を通じ、啓発その他の必要な指導を行う。

⑤ 人権教育年間計画

(第1学年)

実施予定	形 式	内 容	使用資料
4月	新入生研修	人権講話	独自教材
5月	ホームルーム活動	人権アンケート・いじめアンケート	府立学校人権関係教材・独自教材
6月	ホームルーム活動	いじめについて	独自教材
7～8月	講話	夏休み前講話	
9月	ホームルーム活動	夏休み課題について	
10月	ホームルーム活動	携帯電話について・いじめアンケート	独自教材
11月	ホームルーム活動	人権関連 DVD 視聴	内容未定
12月	ホームルーム活動	言葉遣いについて	独自教材
1月	ホームルーム活動	デートDVについて	独自教材
2月	ホームルーム活動	クラス討議(身の差別問題)	府立学校人権関係教材

(第2学年)

実施予定	形 式	内 容	使用資料
4月	ホームルーム活動	クラス討議(生き方と進路問題)	独自教材
5月	ホームルーム活動	いじめアンケート	独自教材
6月	ホームルーム活動	携帯電話の取り扱いについて	府立学校人権関係教材
7～8月			
9月	ホームルーム活動	多文化共生について	独自教材
10月	ホームルーム活動	いじめアンケート	独自教材
11月	ホームルーム活動	デートDVについて	府立学校人権関係教材
12月			
1月	ホームルーム活動	進路問題	府立学校人権関係教材
2月			

(第3学年)

実施予定	形式	内容	使用資料
4月	ホームルーム活動	アンケート(進路問題について)	
5月	ホームルーム活動	いじめアンケート	独自資料
6月	ホームルーム活動	統一用紙と社用紙について	独自教材
7～8月			
9月	ホームルーム活動	面接・違反質問について	独自教材
10月	ホームルーム活動	いじめアンケート	独自資料
11月	ホームルーム活動	講演会を受けて	
12月			
1月	ホームルーム活動	アンケート(3年間の人権教育のまとめ)	府立学校人権関係教材

(6) 健康管理と指導の方針

生徒の健康を保持増進、健康な生活を実践できる能力を身につけさせる。

① 本年度の達成目標

- (ア) 保健管理の適切な実施
- (イ) 保健組織の円滑な運営
- (ウ) 教育環境の美化、整備
- (エ) 安全教育の推進
- (オ) 生徒の心身の健康問題への対応

② 学校保健計画

学校保健向上のため、学校保健委員会を中心に学校保健計画を立案し実施する。

(ア) 保健管理

定期健康診断、その他検診の実施ならびに事後措置を円滑に行うことにより、生徒の健康の保持増進を図る。生徒の健康管理については、保護者、主治医、学校医、保健医療機関と十分な連携を図る。

(イ) 環境衛生管理

学習環境の資質向上、疾病予防を目標として、定期的または臨時に環境衛生に関する検査を行なう。日常清掃の徹底をはかるとともに生活委員による美化活動を推進する。

(ウ) 保健教育

保健・関連教科による保健学習、および本校の生徒の実態に応じた保健指導を行い、生徒本人が自ら健康を保持増進できる資質や能力を育成する。薬物乱用防止教育、性教育及びエイズ教育を推進するため、生徒の課題や実情に合わせて指導の充実に努める。

(エ) 生徒の心身の健康問題への対応

心につまずきを持つ生徒に対し養護教諭による健康相談活動を充実させ、学級担任と共同し支援する。必要に応じ、SCをはじめ外部機関との連携を図る。

③ 学校安全計画

事故防止の為の必要な情報を収集し、学校保健委員会を中心に学校安全計画を立案し実施する。

(ア) 安全管理

毎月、担当者による安全点検を実施し、施設設備に不備が発見された場合は、速やかに学校長に報告し必要な処置を取る。

「防犯及び防災計画」「危機管理体制のあり方 危機管理マニュアル」に基づき対処する。

(イ) 安全教育

防災避難訓練(火災、地震・津波)を実施し、安全教育の意義などを生徒に徹底する。部活動、登下校時を含む学校管理下において、安全対策を万全なものにできるよう、担当校務分掌で協議する。安全指導は全教職員が日常的に行なう。

④ 学校保健委員会

(ア) 目的

本校生徒の健康保持、増進を図るために教職員、保護者、地域社会、専門機関が緊密に連携して保健問題を審議し、活動を促進する。

(イ) 活動

健康診断、疾病の予防と治療、学習能力の向上、学校行事の保健的推進、長期休業等校外での健康生活の推進、環境の美化・緑化と清掃、食品衛生の管理徹底等について協議し、学校保健計画を立案、実施、評価を行う。また、保健関係各部門の連絡調整を図る。

(ウ) 組織

職員代表（教頭、事務長、保健主事、養護教諭、保健部、学校医、学校歯科医、学校薬剤師）、保護者代表、地域社会関係代表で構成し、課題により、関係者を臨時に加えることができる。保健主事は養護教諭の協力のもとに本会の事務を処理する。

(エ) 運営

学校長が招集し、原則として年間2回開催し、協議した事項については職員会議で報告する。決定した事項については、各学年、分掌、委員会において実施、実行する。

⑤ 平成 28 年度 学校保健計画

月	月間保健目標	学校保健関係行事	保健管理		保健教育		
			健康管理	環境衛生管理	保健学習		保健指導
					科目保健	関連教科	
4	自己の健康管理を把握しよう	新入生検診 内科検診・聴力検査 二計測・視力検査 心臓検診(1次) 結核検診 入学時健康相談(保護者・生徒) 検尿(1次) 定期健康診断 二計測・視力検査 内科検診・歯科検診 3年聴力検査 検尿(2次)	保健調査 心臓疾患調査 定期健康診断 健康相談 健康観察 保健室統計報告	薬品管理	1年 応急手当の意義とその基本 2年 思春期と健康 性意識と性行動の選択	1年 家族・家庭 2年 被服の機能	定期健康診断の意義について 生活委員指導
5	疾病の早期治療をしよう	歯科未受検者検診 内科未受検者検診 検尿(2次) 心臓検診(2次)	定期健康診断 健康相談 健康観察 保健室統計報告	照度検査	1年 私たちの健康のすがた 健康のとらえ方 2年 結婚生活と健康	1年 高齢期の健康	未受検者の指導 生活委員指導
6	う歯の予防と治療に努めよう	体育祭 学校保健委員会 心臓検診(3次) 性に関する講演会	定期健康診断 検診結果通知 治療勧告 健康相談 健康観察 部活動・夏の健康管理について(顧問) 保健室統計報告	ブルー水質検査	1年 さまざまな保健活動や対策 2年 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶	1年 保育 2年 食事と健康	歯の衛生週間について 生活委員指導
7	熱中症予防に努めよう 薬物について学ぼう	水分補給セミナー 合宿前検診 歯科相談 AED講習会(職員)	夏季行事参加者健康相談 健康診断のまとめ 治療勧告 健康相談 健康観察 保健室統計報告(1学期まとめ)	大掃除	1年 生活習慣病と日常の生活行動 喫煙と健康 2年 加齢と健康		熱中症予防について 薬物乱用防止教育について 生活委員指導
9	生活のリズムを整えよう	救急の日 結核予防週間 修学旅行前検診 歯科相談 薬物乱用防止教室	健康相談 健康観察 保健室統計報告	空気環境検査	1年 飲酒と健康 2年 高齢者のための社会的取り組み	2年 食中毒 1年 胎児の発育と母体の健康	救急処置の方法について 生活委員指導
10	目の健康保持に努めよう	内科相談 歯科相談	健康相談 健康観察 保健室統計報告	水質検査	1年 薬物乱用と健康 2年 感染症とその予防 保健制度と保健サービスの活用 医療制度と医療費	2年 食事と健康 1年 子どもの健康	目の健康保持 生活委員指導
11	食生活を見直そう	文化祭 内科相談 歯科講習	健康相談 健康観察 風邪・インフルエンザ罹患状況把握 保健室統計報告	照度検査	1年 医薬品と健康 2年 健康にかかわる意思決定	1年 住居 2年 食事と健康	バランスのとれた食事について 生活委員指導
12	性・エイズについて学ぼう	世界エイズデー 内科相談 歯科相談	健康相談 健康観察 風邪・インフルエンザ罹患状況把握 保健室統計報告(1学期まとめ)	大掃除	1年 エイズとその予防 2年 大気汚染と健康 水質汚濁と健康		性・エイズ教育について 生活委員指導
1	風邪・インフルエンザの予防に努めよう	学校保健委員会	健康相談 健康観察 風邪・インフルエンザ罹患状況把握 保健室統計報告		1年 意思決定・行動選択に必要なもの 2年 土壌汚染と健康 健康被害の防止と環境対策	1年 環境を守る 暮し	風邪・インフルエンザ予防について 生活委員指導
2	心身の健康管理に努めよう	内科相談 歯科相談	健康相談 健康観察 保健室統計報告 風邪・インフルエンザ罹患状況把握	空気環境検査	1年 欲求と適応機制 2年 環境衛生活動のしくみと動き	2年 住まいの衛生	心の健康について 生活委員指導
3	健康生活の反省	内科相談 歯科相談	健康相談 健康観察 保健室統計報告 風邪・インフルエンザ罹患状況把握	大掃除	1年 心身の相関とストレス 2年 働くことと健康		健康生活の反省 生活委員活動のまとめ

⑥ 平成28年度 学校安全計画

月	主な学校行事	安全管理	安全教育【主催者】
4	入学式 始業式 定期健康診断 1年校外研修	学校環境の安全点検 防災体制の確立 救急体制の確立 防災施設・設備の点検整備	新入生オリエンテーション【学年】 通学時の安全指導【生徒指導部】 交通安全指導【生徒指導部】 校外研修の安全対策【学年】
5	定期健康診断	学校環境の安全点検	防災避難訓練(火災)【保健部】
6	子どもの安全確保推進 月間 学校の安全確保・安全管理の日 学校保健委員会 体育祭	学校環境の安全点検 空調設備の点検	体育祭の安全対策【実行委員会】 空調設備の安全な使用について【保健部】
7	合宿前検診 AED講習会(職員) 終業式	学校環境の安全点検	夏休みの生活と安全(防犯も含む)【生徒指導部】 水分補給セミナー【保健部・特別活動部】 職員向けAED研修【保健部】
8			職員向け防災避難訓練【保健部】
9	始業式 修学旅行前検診 2年修学旅行 1年校外学習	学校環境の安全点検	防災避難訓練(地震・津波)【保健部】 (大阪880万人訓練) 修学旅行の安全対策【学年】 校外学習の安全対策【学年】
10		学校環境の安全点検 防災施設・設備の点検整備 空調設備の点検	空調設備の安全な使用について【保健部】
11	文化祭	学校環境の安全点検	文化祭の安全対策【実行委員会】 通学時の安全指導【生徒指導部】
12	終業式	学校環境の安全点検	冬休みの生活と安全(防犯も含む)【生徒指導部】
1	始業式 学校保健委員会	学校環境の安全点検	
2	3年校外学習	学校環境の安全点検	校外学習の安全対策【学年】
3	卒業式 修了式	学校環境の安全点検	
			教科学習【各教科担当者】

* 地域連携: 大正区補導・学警連絡会出席

⑦ 教育相談

本校生徒の中には、学校生活や家庭環境、友人関係などにおける悩みを持つ生徒が多く、それらの問題は不登校や問題行動などとして現れることがある。また、療育手帳を所持し、個別の対応が必要な生徒もいる。そのような個々の生徒に応じた支援を行うことを目的として教育相談委員会を設置する。

教育相談委員会では、生徒が気軽に悩みや不安を相談できるような教育相談体制の充実を図るとともに学年や生徒指導部、保健室、支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係各諸機関と連携しながら、生徒が安心して学校生活を送れるように努める。場合によっては保護者・教員のサポートも行う。

また、高校生活支援カードを、生徒理解のために活用し、情報共有して生徒の問題解決に役立てる。

(ア) 今年度の目標

- (a) 支援を必要とする生徒の支援体制づくり
- (b) 開かれた教育相談委員会づくり
- (c) 相談体制の充実
- (d) NPO法人による居場所カフェとの連携
- (e) 学年・関係各部署との連携

(イ) NPO法人による居場所カフェについて

週1回、昼休みと放課後に開室する。(年間10回程度)

(ウ) スクールカウンセラー来校予定

4月26日(火)、5月31日(火)、6月28日(火)、9月6日(火)、10月4日(火)、
11月1日(火)、11月29日(火)、1月10日(火)、2月7日(水)、3月7日(火)

(エ) 高校生活支援カードの活用・支援の流れ

月	行事	教育相談委員会の動き	備考
3月	中学校訪問 合格者登校	中学校からの生徒情報聞き取り 高校生活支援カード回収・チェック 支援を必要とする生徒の洗い出し	年間通じて高校生活状況(出席 状況・成績)の確認 教科からの情報収集等
4月	入学式 宿泊学習 オリエンテーション週間	支援を必要とする生徒保護者との面談 教育相談アンケート	
5月	中間考査	支援計画作成	
6月	体育祭 保護者面談	支援計画の保護者確認 (支援コーディネーター同席)	
7月	期末考査 中高連絡会	出席状況・成績 教科からの情報 1学期の支援計画実施状況報告 2学期以降の支援計画・見直し	
8月			
9月			
10月	中間考査	出席状況・成績 教科からの情報	
11月	文化祭 保護者懇談	支援計画実施状況 今後の計画	
12月	期末考査	2学期の支援計画実施状況報告 3学期の支援計画・見直し	
1月			
2月	学年末考査	1年間の支援計画実施状況報告	
3月		2年の支援計画作成	↓

(7) 学校組織の運営方針

教頭・首席を中心として、機能的な学校運営を進める。

校務分掌の組織を有機的・効率的に機能できるように、業務の分担を明確にし、円滑な学校経営をめざすとともに、教職員の学校経営への参加意欲を高める。また、分掌や学年での情報共有や協働等、連携を強化し、「チーム泉尾」として教職員が一致団結して取り組む。

総務部を中心として、中高連携、中学校訪問、学校説明会を実施する。また、広報体制を推進し、地域から愛される学校となるべく情報を発信する。

(8) 教員の研修方針・研修計画

① 教員の研修方針

教職員の研修は、本校の教育目標を達成するため、学校経営に対する共通理解を深め、資質向上を図ること目的としたものであり、学校の現実と遊離したり、研修のための勉強だけに陥ったりすることは避けなければならない。学校の課題解決や将来構想につながるような校内研修を実施する。

また、教育センターにおける研修や各種研修会に積極的に参加し、その成果を校内研修に反映するように努める。

② 教職員研修計画

(ア) 授業改善への取組み

授業改善のための研修を行い、生徒の興味関心を引き出し、学校活性化へ繋げる。

- ・学習意欲を高める授業への取組み → 授業力についての研修・授業研究週間の実施
- ・生徒の学力を理解する取組み → 基礎学力テスト結果について研修会の実施

(イ) 生徒理解をすすめる研修の充実

様々な生徒が入学している。生徒を理解するための研修を実施し、生徒対応に活用する。

- ・一貫した進路指導の推進 → インターンシップの研修
- ・基本的な生活習慣を身につけさせるためにはどうすればよいか → 実践事例の研修
- ・障がいをもつ生徒の対応について → 支援チームを中心に学校全体での情報共有、生徒対応についての研修
- ・渡日生に対する指導について → 担当者会議での情報共有、実践事例の研修

(ウ) 教育相談活動の充実

定期的に教育相談委員会を開催し、問題を抱える生徒に関して情報を共有する。

具体的な対応についての校内研修を、SCと連携して実施する。

(エ) 人権教育の充実

人権教育委員会が主体となって人権研修をすすめる。

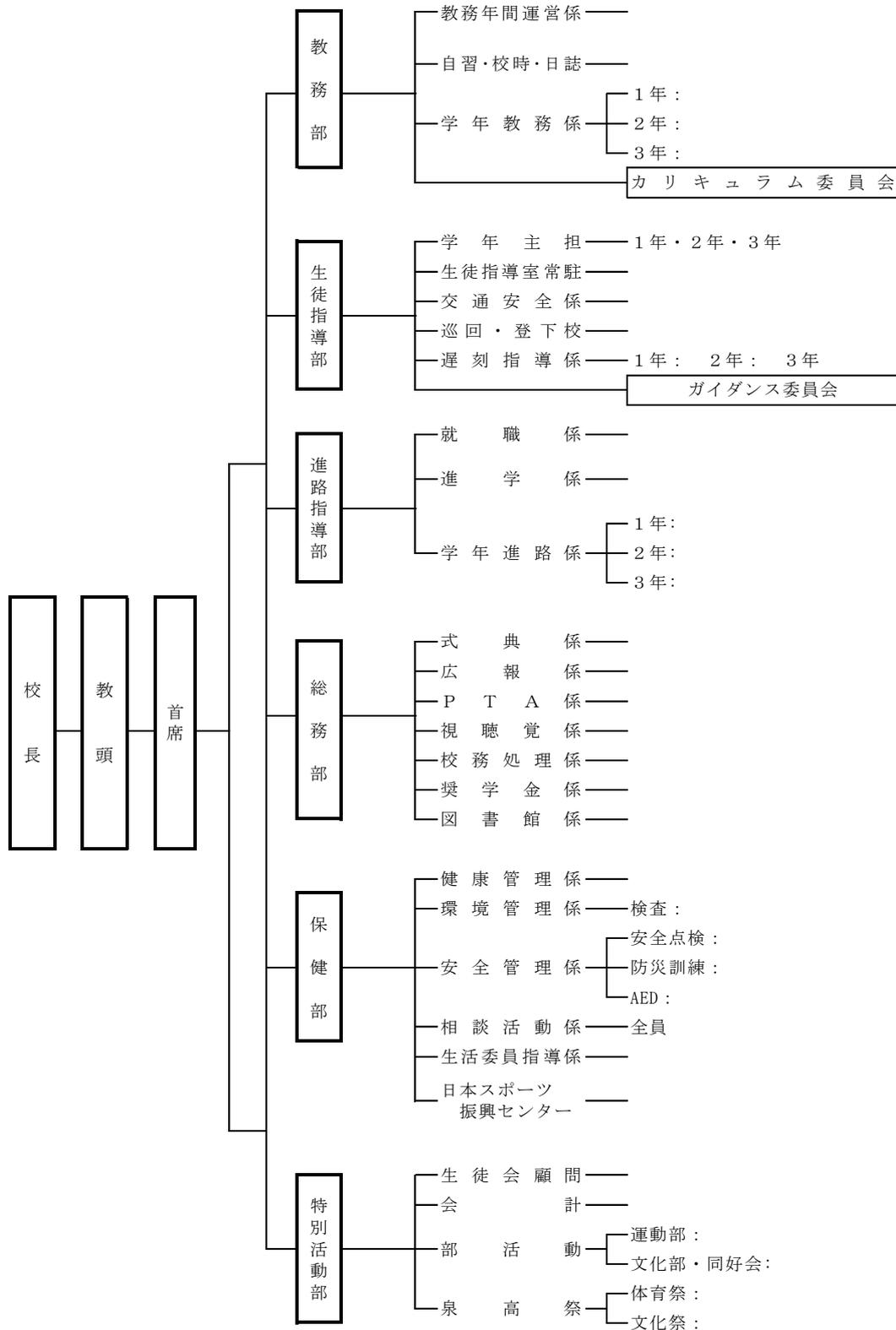
教育委員会主催の人権研修に参加した教員による伝達講習を実施し、研修内容を共有する。

(オ) 年間計画（行事予定記載）

時期		内 容	使用資料・講師等
4月	新着任教員研修	各分掌・委員会オリエンテーション	各種資料
5月	進路指導研修	基礎学力診断テスト結果分析	外部講師
6月	授業研究週間	授業見学・研究授業および意見交換	内部
6月	進路指導研修	本校の進路指導について	内部
7月	救急法講習	救急法講習（AEDを含む）	大正消防署
7月	教育相談研修	SSWとの連携について（仮）	スクールソーシャルワーカー
9月	安全衛生研修	メンタルヘルス 等	未定
10月	人権研修	未定	未定
10月	授業研究週間	授業見学・研究授業および意見交換	
10月	進路指導研修	進路基礎力診断テスト分析会	
11月	授業力向上研修	教科間交流による授業改善	内部
2月	総括会議	今年度の総括	

2. 校務分掌及び各種委員会

(1) 校務分掌表



・各種委員会・係一覧表

平成28年度 各種委員・係一覧									
運営委員会									
校長、教頭、事務長、首席、分掌主任、学年主任									
食堂委員会									
教頭、生徒指導部・保健部・総務部・事務から各1名									
人権教育委員会									
教頭、首席、委員長、各学年担任及び副担任から各1名									
教育相談委員会									
教頭、首席、委員長、各学年担任及び副担任から各1名、生徒指導部2名、保健部1名、養護教諭、校長が必要と認めた者									
学校保健委員会									
校長、教頭、事務長、保健部、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、PTA代表									
カリキュラム検討委員会									
教頭、教務部主任、各教科主任、1・2年学年教務									
入学者選抜委員会									
教頭、首席、教務部主任、新1年学年主任、教科代表(国・社・数・理・英・体は各1名、芸術・家庭・情報から1名)、パソコン担当2名									
ガイダンス委員会									
校長、教頭、首席、生徒指導部主任、当該担任、当該学年主任、当該学年生指、その他学年の学年生指、問題行動発見者、その他									
予算調整委員会									
教頭、事務長、事務担当、代表3名(但し運営委員は除く)									
安全衛生委員会									
校長、教頭、事務長、衛生管理者、経験を有する職員2(体育または養護教諭)、教職員の支持を受けた職員2、産業医									
いじめ防止対策委員会									
校長、教頭、首席、人権教育委員長、教育相談委員長、生徒指導部主任、各学年主任、養護教諭									

(2) 各学年主任・ホームルーム担任一覧表

5月1日現在

第1学年					
		学年主任			
組	担任	副担任	生徒数		
			男子	女子	計
1			17	14	31
2			17	14	31
3			16	15	31
4			16	15	31
5			17	14	31
6			32	24	56
学年付					
学年計			115	96	211

第2学年					
		学年主任			
組	担任	副担任	生徒数		
			男子	女子	計
1			7	18	25
2			12	15	27
3			13	15	28
4			12	16	28
5			12	15	27
6			15	18	33
学年付					
学年計			71	97	168

第3学年					
		学年主任			
組	担任	副担任	生徒数		
			男子	女子	計
1			9	16	25
2			10	13	23
3			10	13	23
4			9	14	23
5			9	14	23
6			9	15	24
学年付					
学年計			56	85	141

3 参考資料

(1) 行事予定表

4 月					5 月					6 月								
日	曜日	行 事	休業日○ 行事日△			日	曜日	行 事	休業日○ 行事日△			日	曜日	行 事	休業日○ 行事日△			
			1	2	3				1	2	3				1	2	3	
1	金	職員会議	○	○	○	1	日		○	○	○	1	水	創立記念日 安全点検 全校集会				
2	土		○	○	○	2	月	安全点検 3年適性検査(6限)				2	木	体育祭予行、午後体育祭準備 成績入力締切 成績照合				
3	日		○	○	○	3	火	憲法記念日	○	○	○	3	金	体育祭	△	△	△	
4	月	新入生検診(午後) 新入生心臓・結核検診	△	○	○	4	水	みどりの日	○	○	○	4	土		○	○	○	
5	火		○	○	○	5	木	こどもの日	○	○	○	5	日		○	○	○	
6	水	安全点検 運営委員会 職員会議	○	○	○	6	金					6	月	教員研修(進路)				
7	木	入学式(午後) 保健調査1年	△	○	○	7	土		○	○	○	7	火	教科担当者連絡会議				
8	金	始業式 保健調査(2・3年) 正門指導	△	△	△	8	日		○	○	○	8	水	懇談週間				
9	土	新入生研修	△	○	○	9	月	正門指導				9	木	6限カット				
10	日		○	○	○	10	火	正門指導				10	金	英語検定				
11	月	1年代休 正門指導 2・3年基礎力診断テスト 離任式	○			11	水	交通安全マナー指導				11	土	公開授業 学校説明会 保護者対象進路説明会 ↓				
12	火	新入生歓迎会(1年6限) 1年基礎力診断テスト 検尿1次				12	木	歯科未受検者検診 職員会議 心臓2次 3年進路フェスタ(56限)				12	日		○	○	○	
13	水	検尿1次(予備) ↓				13	金	内科未受検者検診 安全衛生委員会 検尿2次(予備) ↓				13	月	代休(6/11)	○	○	○	
14	木	部活動体験(6限) 職員会議				14	土		○	○	○	14	火	懇談週間				
15	金	部活動体験(6限)				15	日		○	○	○	15	水					
16	土		○	○	○	16	月					16	木	6限カット ↓				
17	日		○	○	○	17	火					17	金	学校保健委員会 安全衛生委員会 漢字検定				
18	月	部活動体験週間				18	水	中間考査 基礎力診断分析会議				18	土		○	○	○	
19	火					19	木	中間考査 PTA総会				19	日		○	○	○	
20	水	定期健康診断				20	金	中間考査				20	月	正門指導				
21	木	2年適性検査(56限) 3年聴力検査 職員会議				21	土		○	○	○	21	火	正門指導				
22	金	安全衛生委員会				22	日		○	○	○	22	水					
23	土		○	○	○	23	月	中間考査				23	木	性に関する講演会(1年) 職員会議				
24	日		○	○	○	24	火	中間考査 クリーンウォーク				24	金					
25	月	検尿2次				25	水					25	土		○	○	○	
26	火					26	木	避難訓練 職員会議				26	日		○	○	○	
27	水					27	金					27	月					
28	木	2・3年校外学習 1年研修(交通安全講習他)	△	△		28	土		○	○	○	28	火					
29	金	昭和の日	○	○	○	29	日		○	○	○	29	水					
30	土		○	○	○	30	月	正門指導				30	木	期末考査				
						31	火	正門指導										
		学年	1	2	3	4		学年	1	2	3	4		学年	1	2	3	4
		教科・科目の授業日	13	13	13			教科・科目の授業日	19	19	19			教科・科目の授業日	21	21	21	
小	計	行事日	4	2	2		小	計	0	0	0		小	計	1	1	1	
		休業日	13	15	15			休業日	12	12	12			休業日	8	8	8	

7 月					8 月					9 月								
日	曜日	行 事	休業日○ 行事日△			日	曜日	行 事	休業日○ 行事日△			日	曜日	行 事	休業日○ 行事日△			
			1	2	3				1	2	3				1	2	3	
1	金	期末考査 安全点検				1	月	安全点検	○	○	○	1	木	始業式 2年追認考査 正門指導 3年追認判定会議 職員会議 安全点検				
2	土		○	○	○	2	火		○	○	○	2	金	2年追認考査 修学旅行前検診 安全衛生委員会				
3	日		○	○	○	3	水		○	○	○	3	土		○	○	○	
4	月	期末考査 職員検診(午後)				4	木		○	○	○	4	日		○	○	○	
5	火	期末考査				5	金		○	○	○	5	月	2年追認考査 避難訓練 正門指導				
6	水	期末考査 水分補給セミナー				6	土		○	○	○	6	火	2年追認考査				
7	木	職員会議				7	日		○	○	○	7	水	2年追認考査				
8	金	答案返却 合宿前検診 安全衛生委員会				8	月		○	○	○	8	木	職員会議 3年6限カット 2年追認判定会議				
9	土		○	○	○	9	火		○	○	○	9	金					
10	日		○	○	○	10	水		○	○	○	10	土		○	○	○	
11	月					11	木	山の日	○	○	○	11	日		○	○	○	
12	火					12	金		○	○	○	12	月	3年6限カット				
13	水					13	土		○	○	○	13	火	2年3限+修学旅行結団式				
14	木	後期生徒会役員選挙 学年成績会議 歯科相談				14	日		○	○	○	14	水	2年修学旅行			△	
15	金	成績会議 職員会議				15	月		○	○	○	15	木	歯科相談			△	
16	土		○	○	○	16	火		○	○	○	16	金	1年校外学習			△ △	
17	日		○	○	○	17	水		○	○	○	17	土				○ △ ○	
18	月	海の日	○	○	○	18	木		○	○	○	18	日		○	○	○	
19	火					19	金		○	○	○	19	月	敬老の日			○ ○ ○	
20	水	終業式 大掃除	△	△	△	20	土		○	○	○	20	火	2年代休			○	
21	木	AED講習会	○	○	○	21	日		○	○	○	21	水					
22	金	中高連絡会	○	○	○	22	月		○	○	○	22	木	秋分の日			○ ○ ○	
23	土		○	○	○	23	火		○	○	○	23	金					
24	日		○	○	○	24	水		○	○	○	24	土		○	○	○	
25	月		○	○	○	25	木	3年補充授業(振) 3年追認考査 歯科相談 正門指導	○	○		25	日		○	○	○	
26	火		○	○	○	26	金	3年補充授業(振) 3年追認考査 内科相談 安全衛生委員会	○	○		26	月	基礎力診断テスト(1・2年)				
27	水		○	○	○	27	土		○	○	○	27	火					
28	木		○	○	○	28	日		○	○	○	28	水					
29	金		○	○	○	29	月	3年補充授業(振) 2年補充授業 3年追認考査 正門指導	○			29	木	薬物乱用防止教室 職員会議				
30	土		○	○	○	30	火	3年補充授業(振) 2年補充授業 3年追認考査	○			30	金					
31	日		○	○	○	31	水	3年補充授業(振) 2年補充授業 3年追認考査	○									
		学年	1	2	3	4		学年	1	2	3	4		学年	1	2	3	4
		教科・科目の授業日	12	12	12			教科・科目の授業日	0	3	5			教科・科目の授業日	19	16	20	
小	計	行事日	1	1	1		小	計	0	0	0		小	計	1	4	0	
		休業日	18	18	18			休業日	31	28	26			休業日	10	10	10	

10月					11月					12月										
日	曜日	行事	休業日○ 行事日△			日	曜日	行事	休業日○ 行事日△			日	曜日	行事	休業日○ 行事日△					
			1	2	3				1	2	3				1	2	3			
1	土		○	○	○	1	火	文化祭準備 安全点検 正門指導				1	木	安全点検						
2	日		○	○	○	2	水	文化祭	△	△	△	2	金	期末考査						
3	月	安全点検 正門指導				3	木	文化の日	○	○	○	3	土		○	○	○			
4	火	正門指導				4	金	代休(10/29)	○	○	○	4	日		○	○	○			
5	水					5	土		○	○	○	5	月	期末考査						
6	木					6	日		○	○	○	6	火	期末考査						
7	金	英語検定				7	月	教員研修(授業)				7	水	期末考査						
8	土		○	○	○	8	火	教科担当者連絡会議				8	木	期末考査						
9	日		○	○	○	9	水	懇談週間				9	金							
10	月	体育の日	○	○	○	10	木	6限カット				10	土		○	○	○			
11	火					11	金	数学検定				11	日		○	○	○			
12	水					12	土	公開授業 学校説明会 保護者対象進路説明会				12	月							
13	木	中間考査				13	日		○	○	○	13	火	答案返却						
14	金	中間考査				14	月	代休(11/12)	○	○	○	14	水							
15	土		○	○	○	15	火	懇談週間 交通安全+指導				15	木	歯科相談						
16	日		○	○	○	16	水					16	金	内科相談 安全衛生委員会						
17	月	中間考査				17	木	6限カット				17	土		○	○	○			
18	火	中間考査				18	金	内科相談 安全衛生委員会				18	日		○	○	○			
19	水	中間考査 クリーンウォーク				19	土		○	○	○	19	月	学年成績会議						
20	木	職員会議 歯科相談				20	日		○	○	○	20	火	成績会議 職員会議						
21	金	内科相談 漢字検定 安全衛生委員会				21	月	2年進路見学会				21	水							
22	土		○	○	○	22	火					22	木	終業式 大掃除	△	△	△			
23	日		○	○	○	23	水	勤労感謝の日	○	○	○	23	金	天皇誕生日	○	○	○			
24	月					24	木	歯科講習(2年) 職員会議 正門指導				24	土		○	○	○			
25	火					25	金	正門指導				25	日		○	○	○			
26	水					26	土		○	○	○	26	月		○	○	○			
27	木	LHR(文化祭準備)				27	日		○	○	○	27	火		○	○	○			
28	金	LHR(文化祭準備)				28	月					28	水		○	○	○			
29	土	学校説明会 LHR(文化祭準備)				29	火					29	木		○	○	○			
30	日		○	○	○	30	水					30	金		○	○	○			
31	月	正門指導 LHR(文化祭準備)				31	土					31	日		○	○	○			
		学年	1	2	3	4			学年	1	2	3	4			学年	1	2	3	4
		教科・科目の授 業日	21	21	21				教科・科目の授 業日	18	18	18				教科・科目の授 業日	15	15	15	
小	計	行事日	0	0	0		小	計	行事日	1	1	1		小	計	行事日	1	1	1	
		休業日	10	10	10				休業日	11	11	11				休業日	15	15	15	

1 月					2 月					3 月												
日	曜日	行事	休業日○ 行事日△			日	曜日	行事	休業日○ 行事日△			日	曜日	行事	休業日○ 行事日△							
			1	2	3				1	2	3				1	2	3					
1	日	元旦	○	○	○	1	水	3年期末考査 安全点検				1	水	卒業式 安全点検	△	△	△					
2	月	振替休日	○	○	○	2	木				○	2	木	1・2年答案返却 志願者受付 歯科相談			○					
3	火		○	○	○	3	金	3年校外学習			△	3	金	1・2年答案返却 志願者受付 内科相談 安全衛生委員会			○					
4	水		○	○	○	4	土				○	4	土		○	○	○					
5	木		○	○	○	5	日				○	5	日		○	○	○					
6	金	職員会議	○	○	○	6	月	3年答案返却				6	月	志願者受付		○	○	○				
7	土		○	○	○	7	火				○	7	火		○	○	○					
8	日		○	○	○	8	水				○	8	水	学年成績会議 職員会議		○	○	○				
9	月	成人の日	○	○	○	9	木	1年球技大会 3年学年成績会議 3年成績会議 職員会議 漢字検定			○	9	木	学力検査		○	○	○				
10	火	始業式 安全点検 正門指導				10	金				○	10	金			○	○	○				
11	水					11	土	建國記念の日			○	11	土		○	○	○					
12	木					12	日				○	12	日		○	○	○					
13	金					13	月	3年登校日 3年追試 正門指導				13	月			○	○	○				
14	土		○	○	○	14	火	3年追試 正門指導			○	14	火	成績会議 職員会議		○	○	○				
15	日		○	○	○	15	水	3年追試			○	15	水	終業式	△	△	○					
16	月					16	木	3年追試 歯科相談 総括会議			○	16	木	選抜判定会議		○	○	○				
17	火					17	金	3年追試 内科相談 数学検定 安全衛生委員会			○	17	金	合格発表		○	○	○				
18	水					18	土				○	18	土		○	○	○					
19	木	前期生徒会役員選挙 職員会議 英語検定				19	日				○	19	日		○	○	○					
20	金	学校保健委員会 安全衛生委員会				20	月	3年追認判定会議 職員会議 大掃除			○	20	月	春分の日		○	○	○				
21	土	学校説明会	○	○	○	21	火				○	21	火		○	○	○					
22	日		○	○	○	22	水	1・2年期末考査			○	22	水		○	○	○					
23	月					23	木	1・2年期末考査			○	23	木		○	○	○					
24	火					24	金	1・2年期末考査			○	24	金		○	○	○					
25	水					25	土				○	25	土		○	○	○					
26	木	3年期末考査				26	日				○	26	日		○	○	○					
27	金	3年期末考査				27	月	1・2年期末考査 3年登校日				27	月			○	○	○				
28	土		○	○	○	28	火	1・2年期末考査 卒業式予行				28	火		○	○	○					
29	日		○	○	○	卒業式予行					29	水		○	○	○						
30	月	3年期末考査									30	木				○	30	木		○	○	○
31	火	3年期末考査									31	金				○	31	金		○	○	○
		学年	1	2	3	4		学年	1	2	3	4		学年	1	2	3	4				
		教科・科目の授業日	16	16	16			教科・科目の授業日	20	20	5			教科・科目の授業日	2	2	0					
小	計	行事日	0	0	0		小	計	行事日	0	0	1		小	計	行事日	2	2	1			
		休業日	15	15	15			休業日	8	8	22			休業日	27	27	30					

(2) 教育課程表

1年:平成28年度入学 教育課程実施計画(全日制の課程 普通科)

入学年度		28										備 考
コース		アドバンスコース					アクティブスポーツコース					
学年		(I)	II	III	III選	計	(I)	II	III	III選	計	
教科	科 目 \ 学級数											
国語	国語総合	4	2				4	2				
	現代文B		2	2				2	2			
	(学)実用国語			2		12			2		12	
	(学)実用表現				2●	14				2◆	14	
	(学)発展国語				2●	16				2◆	16	
地理歴史	世界史B		2	2				2	2			
	日本史A			2					2			
	地理A	2					2					
	(学)日本史基礎		2			10					8	
	(学)発展地歴				2●	12				2◆	10	
公民	現代社会	2				2	2				2	
	(学)実用社会				2●	4				2◆	4	
数学	数学I	4					4					
	数学II		2	2								
	数学A		2					2				
	数学B				2●	12				2◆	8	
	(学)実用数学			2		14			2		10	
理科	物理基礎				2●					2◆		
	化学基礎		2					2				
	化学			2								
	生物基礎	2					2				8	
	生物			2		10			2			
	地学基礎	2				12	2				10	
	(学)生物の世界				2●	14				2◆	12	
保健体育	体育	3	3	2			3	3	2			
	保健	1	1			10	1	1			10	
	(学)発展スポーツ				2●	12				2◆	12	
芸術	音I・美I・書I	2					2					
	音II・美II・書II		2									
	音III・美III・書III				2●							
	(学)鑑賞演習				2●					2◆		
	(学)楽器と歌曲				2●	4				2◆		
	(学)美術への誘い				2●	6				2◆	2	
	(学)書道への誘い				2●	8				2◆	4	
	(学)実用書				2●	10				2◆	6	
外国語	コミュニケーション英語I	4					4					
	コミュニケーション英語II		2					2				
	コミュニケーション英語III			2					2			
	英語表現I		2					2				
	英語会話			2		12			2		12	
	(学)英語演習				2●	14				2◆	14	
	(学)英語研究				2●	16				2◆	16	
家庭	家庭総合	2	2			4	2	2			4	
	(学)生活文化				2●	6				2◆	6	
情報	社会と情報		2			2		2			2	
	(学)ワープロ演習				2●	4				2◆	4	
	(学)パソコン演習				2●	6				2◆	6	
家庭	フードデザイン				2●	0,2				2◆	0,2	
体育	スポーツI							2*	2*			
	スポーツII							2*	2*			
	スポーツVI							2	2			
	(学)実践スポーツI							2				
	(学)実践スポーツII								2		12	
教科・科目の計		28	28	22	6	84	28	28	24	4	84	
特別活動 ホームルーム活動		1	1	1		3	1	1	1		3	
総合的な学習の時間		1	1	1		3	1	1	1		3	
総 計		30	30	30		90	30	30	30		90	
選 択 の 方 法		3年:アドバンスコースは●より3科目6単位、アクティブスポーツコースは◆より2科目4単位を選択する										

2年:平成27年度入学 教育課程実施計画(全日制の課程 普通科)

入学年度		27											備考
コース		アドバンスコース					アクティブスポーツコース						
学年		(I)	II	II選	III	III選	計	(I)	II	III	III選	計	
教科	科目 \ 学級数												6
国語	国語総合	2	2					2	2				
	現代文B		2		2				2	2	2		
	(学)基礎国語	2						2					
	(学)言葉への誘い			2○			12						
	(学)実用国語				2		14			2			
	(学)実用表現					2●	16				2◆		
	(学)発展国語 I					2●	18				2◆	12	
(学)発展国語 II					2●	20				2◆	14		
(学)国語鑑賞					2●	22				2◆	16		
地理歴史	世界史B		2		2				2	2			
	日本史A				2		8			2			
	地理A	2					10	2				8	
	(学)日本史基礎			2○			12					10	
(学)発展地歴					2●	14				2◆	12		
公民	現代社会	2					2	2				2	
	(学)実用社会					2●	4				2◆	4	
数学	数学 I	4						4					
	数学 II		2		2				2	2			
	数学 A		2				10						
	数学 B					2●	12				2◆		
	数学活用					2●	14				2◆		
	(学)実用数学					2●	16				2◆	8	
	(学)数学演習 A					2●	18				2◆	10	
(学)数学演習 B					2●	20				2◆	12		
理科	物理基礎			2○									
	化学基礎		2						2				
	化学					2●					2◆		
	生物基礎	2					8	2					
	生物				2		10			2			
	地学基礎	2					12	2					
	地学					2●	14				2◆	8	
(学)生物の世界					2●	16				2◆	10		
(学)発展科学					2●	18				2◆	12		
保健体育	体育	3	3		2			3	3	2			
	保健	1	1				10	1	1			10	
	(学)発展スポーツ					2●	12				2◆	12	
芸術	音Ⅰ・美Ⅰ・書Ⅰ	2						2					
	音Ⅱ・美Ⅱ・書Ⅱ		2										
	音Ⅲ・美Ⅲ・書Ⅲ					2●	4						
	(学)美術への誘い					2●	6				2◆		
	(学)書道への誘い					2●	8				2◆		
	(学)実用書					2●	10				2◆	2	
	(学)鑑賞演習					2●	12				2◆	4	
(学)楽器と歌曲					2●	14				2◆	6		
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4						4					
	コミュニケーション英語Ⅱ		2		2				2	2			
	英語表現Ⅰ		2						2				
	英語会話				2		12			2			
	(学)英語演習					2●	16				2◆	12	
	(学)英語研究					2●	18				2◆	14	
(学)実用英語					2●	20				2◆	16		
家庭	家庭総合	2	2				4	2	2			4	
	(学)生活文化					2●	8				2◆	8	
情報	社会と情報		2				2		2			2	
	(学)ワープロ演習					2●	4				2◆	4	
	(学)パソコン演習					2●	6				2◆	6	
家庭	フードデザイン					2●	2				2◆	2	
	スポーツⅠ								2*	2*			
体育	スポーツⅡ								2*	2*			
	スポーツⅥ								2	2			
	(学)実践スポーツⅠ								2				
	(学)実践スポーツⅡ									2		12	
英語	英語理解			2○			2						
	(学)進学講座					2●					2◆		
一般教養	(学)就職講座					2●	2				2◆	2	
							4					4	
教科・科目の計		28	26	2	18	10	84	28	28	24	4	84	
特別活動 ホームカム活動		1	1		1		3	1	1	1		3	
総合的な学習の時間		1	1		1		3	1	1	1		3	
総合計		30	28		30		90	30	30	30		90	
選択の方法		2年:○より1科目2単位選択する 3年:アドバンスコースは●より5科目10単位、アクティブスポーツコースは◆より2科目4単位を選択する											

3年:平成26年度入学 教育課程実施計画(全日制の課程 普通科)

入学年度		26										備 考	
コース		アドバンスコース					アクティブスポーツコース						
学年		I	(II)	(I選)	III	III選	計	I	(II)	III	III選		計
教科	科 目 \ 学級数	6											
国語	国語総合	2	2					2	2				
	現代文B		2		2				2	2			
	(学)基礎国語	2						2					
	(学)言葉への誘い			2○			12						
	(学)実用国語				2		14			2			
	(学)実用表現					2●	16				2◆	12	
	(学)発展国語 I					2●	18				2◆	14	
(学)発展国語 II					2●	20				2◆	16		
(学)国語鑑賞					2●	22				2◆	18		
地理歴史	世界史B		2		2				2	2			
	日本史A					2●	6				2◆		
	地理A	2					8	2				6	
	(学)日本史基礎			2○			10					8	
(学)発展地歴					2●	12				2◆	10		
公民	現代社会	2					2	2				2	
	(学)実用社会					2●	4				2◆	4	
数学	数学I	2	2					2	2				
	数学II					2●2●					2◆2◆		
	数学A		2				10						
	数学B					2●	12				2◆		
	数学活用					2●	14				2◆		
	(学)基礎数学	2					16	2				8	
	(学)実用数学				2		18			2		10	
(学)数学演習A					2●	20				2◆	12		
(学)数学演習B					2●	22				2◆	14		
理科	物理基礎			2○									
	化学基礎		2						2				
	化学					2●					2◆		
	生物基礎	2					8	2					
	生物				2		10			2			
	地学基礎	2					12	2				8	
	地学					2●	14				2◆	10	
(学)生物の世界					2●	16				2◆	12		
(学)発展科学					2●	18				2◆	14		
保健体育	体育	3	3		2			3	3	2			
	保健	1	1				10	1	1			10	
	(学)発展スポーツ					2●	12				2◆	12	
芸術	音I・美I・書I	2						2					
	音II・美II・書II		2										
	音III・美III・書III					2●	4						
	(学)美術への誘い					2●	6				2◆		
	(学)書道への誘い					2●	8				2◆	2	
	(学)実用書					2●	10				2◆	4	
	(学)鑑賞演習					2●	12				2◆	6	
(学)楽器と歌曲					2●	14				2◆	8		
外国語	コミュニケーション英語I	4						4					
	コミュニケーション英語II		2		2				2	2			
	英語表現I		2						2				
	英語会話				2		12			2		12	
	(学)英語演習					2●	14				2◆	14	
	(学)英語研究					2●	16				2◆	16	
(学)実用英語					2●	18				2◆	18		
家庭	家庭総合	2	2				4	2	2			4	
	(学)生活文化					2●	6				2◆	6	
情報	社会と情報		2				2		2			2	
	(学)ワープロ演習					2●	4				2◆	4	
	(学)パソコン演習					2●	6				2◆	6	
家庭	フードデザイン					2●	2				2◆	2	
	スポーツI								2*	2*			
体育	スポーツII								2*	2*			
	スポーツVI								2	2			
	(学)実践スポーツI								2				
	(学)実践スポーツII									2		12	
	英語	英語理解			2○			2					
一般教養	(学)進学講座					2●					2◆		
	(学)就職講座					2●	2				2◆	2	
教科・科目の計		28	26	2	16	12	84	28	28	22	6	84	
特別活動 ホームルーム活動		1	1		1		3	1	1	1		3	
総合的な学習の時間		1	1		1		3	1	1	1		3	
総合的な学習の時間		1	1		1		3	1	1	1		3	
総 計		30	28		30		90	30	30	30		90	
選 択 の 方 法		2年：○より1科目2単位選択する 3年：アドバンスコースは●より6科目12単位、アクティブスポーツコースは◆より3科目6単位を選択する 数学IIを選択する者は4単位を選択すること(2単位選択不可)。											